

<p>△産業宣教：237 と第 1、2、3、RUTC の答え 24/重職者大学院連合礼拝 ミッションのない重職者、ミッションのある重職者 (使 6:1-7)</p>	<p>△核心訓練 インマヌエルの味わい(イザ 7:14)</p>	<p>△レムナント伝道学：伝道者の生活と第 1、2、3RUTC の答え 24 福音と一生のタラント(使 1:8)</p>	<p>△散らされた弟子たち/237、5000 を生かす 第 1、2、3RUTC の答え 24 世界を生かすアンテナは何か(黙 1:1-3)</p>
<p>□序論_24 重職者産人 「私はこの教会の重職者で、世の中を生かす産業人だ」これを 24 したのだ。これだけ続けて祈れば、すべてがみな出てくる。 1. 状況を見て祈り 24、伝道 24 するのだ。 2. 人の話だけ聞かなくても 24 になる。 3. 祈ることができる実際(集中)を持っていなければならない。</p> <p>□本論_ミッション 1. 刻印、根、体質を変えることが最高のミッション-答えは 24 しかない。 1) 使 1:1 キリスト 2) 使 1:3 神の国 3) 使 1:8 ただ聖霊 2. 礼拝-24 になれば、礼拝を変えることができる。礼拝に来るときは、完全なミッションが出て来るべき。 1) 使 2:1-4 「五旬節の日になって」これが礼拝だ。 2) 使 2:9-13 15 か国に入っていくことができる門が開いた。 3) 使 2:17-18 (未来) -礼拝をささげるたびに未来が見える。 4) 使 2:43-45 初代教会は予算が足りないことがなかった。 5) 使 2:46-47 「毎日」これが礼拝だ。救いの働きが起こった。 3. カー世の中を変える力を重職者に与えられた。 1) 使 6:1-7 この人々を重職者として立てた。 2) 使 7:1-60 ただ一度だけメッセージをして死んだステパノ→アンテオケ教会が立てられた。 3) 使 8:4-8 サマリヤに働き、使 8:26-40 エチオピア宦官との出会い 使 9:10、15 アナニヤにパウロを送られた神様 使 10:1-45 皮なめしシモンとコルネリオ △礼拝だけささげて私のすべてが解決されてこそ正しい信徒だ。礼拝を通じて神様の御声を聞かなくては終わる。</p> <p>□結論_三つ 1. みことばの流れ 2. 祈りの流れ 3. 証人の流れ △聖日に教会に行くときは、多くの霊的な力が準備されて行かなければならない。礼拝をささげれば、この三つの流れが見えて、するとそちらへ行けば良い。コロナ時代には聖書にある非対面伝道を見つけて出しなさいということだ。そして、初代教会に起こった対面弟子訓練を準備しなさいということだ。パウロが使ったメディア戦略を使いなさいということだ。それを私たちが今、準備しているのだ。 △重職者のみなさんは、答えを受けて牧師と信徒を助けることが、みなさんの方法だ。みなさんが答えを受ければ、みなついて来なければならない。それを指して証人と言う。みなさんは、答えを持って人を教えて生かす証人だ。</p>	<p>□序論_しるし(すべての問題を解決できる隠されたサイン) 1. 処女がみごもって 2. インマヌエル イザ 7:14 に約束、マタ 1:19-23 に成就 創 3:1-5 初めから人間を倒すためのサタンの攻撃 創 6:4-5 サタンに捕えられるネフィリム運動 創 11:1-8 神様に挑戦するバベルの塔を築くこと-今まで続けている。 3 団体、偶像崇拜、宗教-全部創 3、6、11 章に陥っている。 教会もここに引っかかっている。 ネフィリム-このとき、完全にサタンに捕えられてネフィリムになるという事実を知らずにいるのだ。 人の子孫は絶対に救い主になれない。それゆえ、神様が聖霊でみごもって送られたのだ。 サタン縛る-この話をわかる瞬間にサタンは縛られる。 創 3:15 (権威) -女の子孫を送って蛇の頭を踏み砕く。サタンは死ぬ存在ではないので、権威を砕いて、縛るのだ。 創 6:14 箱舟の中に入れてくれば生きる契約を与えられた。 創 12:1-3 アブラハムにカルデア(創 3、6、11 章)を離れなさいと言われた。 福音を本当に理解すれば、神様が私たちとともにおられるので、こういうものが不要ない。 1) 私の考え x 2) 私の主張 x 3) 私の立場 x △福音を本当に悟る瞬間、サタンは縛られてインマヌエルの働きが起こるようになる。 □本論 1. 御座-御座の祝福が臨むインマヌエル 1) イザ 6:1 御座に座しておられる神様を見せられた。 2) イザ 6:2-12 神様が御座で多くの主の御使いを動かされる。 3) イザ 6:13 みな滅ぼされても大丈夫だ。聖なるすえ、切り株は残ることになる。 2. みことば-神様のみことばが臨むインマヌエル 1) イザ 40:1-10 「主のみことばは永遠に立つと言いなさい」 2) イザ 40:12-26 「人が作ったものがどうして神なのか」働きが起こるが、それがネフィリムだ。 3) イザ 40:27-31 「ただ主を待ち望む者は、新たに力を受ける」 3. 光-光として現れるインマヌエル 1) イザ 60:1-22 「起きよ。光を放て」 2) イザ 62:6-12 見張り場を作って光を照らすこと △私が本当に福音であるのかをいつも考えなければならない。本当に福音ならば、暗やみは崩れる。 □結論_神様のみことばを握った人々 1. ダニエル-王たちを教える知恵を神様が与えられた。 2. 三人の青年 3. エステル</p>	<p>□序論_必ず記憶すること 1. Heavenly Talent (天才) -神様は誰にでも天才性を与えられた。 2. Throne's Talent -Remnant には御座から与えられる力とタラント、ミッションがある。</p> <p>□本論 1. 以前-タラント以前のことがさらに重要な世界を変えるタラントは神様が与えられること 3 今日-Remnant は今日の祈り、みことば、証拠(伝道)を確認すれば霊的狀態が Throne's Talent に変わる。 2. 今日-一生タラント以前に今日のタラントがある。 1) 10 の土台-神様の絶対計画 2) 10 の意義-どんな場合でも一人で生き残る 3) 神の国-こと(0 順位)、どこへ行っても 0 順位になってしまう。 3. 一生-このようにして一生のタラントが出てくるのだ。 1) ただ 2) 唯一性 3) 再創造 △ただ、唯一性、再創造の中で出てくる空前絶後のことがある。私にだけ与えられたことだが、これを指して一生のタラントと言う。</p> <p>□結論 All CVDIP △この答えが出てくるようになれば、すべてが CVDIP になってしまう。 △Remnant は世の中の人々が全く分からない霊的問題がくるとき、証人になるのだ。それゆえ、福音を味わっている人は、簡単に判断せずに、味わいながら待つ。すると、この答えが来るようになる。</p>	<p>みなさんの心の中で伝道、宣教このように言うとき、難しいという考えにもなるだろう。特に、「中国福音化をどのようにすることが出来るだろうか」と考えるだろう。中国と世界を生かすアンテナが何なのか重要だ。 1. 正確な絶対契約-必ずあるので、祈れば見つけられる。 1) 創 37:1-11 ヨセフ 2) 出 3:18-20 モーセ 3) 1 サム 3:1-19 サムエル 4) 1 サム 16:1-13, 23 ダビデ 5) Ⅱ列 2:9-11 エリシャ 6) ダニ 1:8-9 ダニエル 2. 御座の流れ 1) 奴隷 2) 捕虜 3) 属国 △このように行ったのは 237 か国、世界福音化しに行ったのだ。 3. 未来-正確に見たので揺れなかった 1) マタ 24:1-25:46 2) 使 1:1-8 3) 黙 1:1-3 △イスラムの福音化、中国福音化このように見れば簡単だ。 世界福音化-私 世界福音化は神様のみことばに、私が今できない。そこに答えがある。 多海山-全世界を、多くの海と山を渡らなければならない。多くのことの中に神様の前で決定される単語があるだろう。それならば、よいのだ。中国を生かす弟子、他の方法を使わずに本当にこのように(本論)すべきだ。完全に門が開められたように見えるが、中国はとても良い機会だ。</p>

△区域メッセージ モルデカイとエステルが味わった私の 24(エス 4:12-17)	△聖日 1 部礼拝 生活を超えたいのちの運動(マタ 14:13-21)	△聖日 2 部礼拝/一般信徒宣教献身礼拝 私のことではない異なる世界(マタ 14:22-33)
<p>□序論_みことば(正確)</p> <p>△この人たちが答えを受けたのは、このみことばを正確に握ったのだ △イエス様が実がないいちじくを見てのろわれたとき、弟子たちは後ほど枯れた木を見て、みことばを思い出した。私たちが信仰生活を普通、このようにする。弟子たちが尋ねていたとすれば、イエス様が、いちじくは、イスラエルを象徴する木で、イスラエルは大きい苦しみに会うので、備えなければならないと言われたらう。本当に、その後にはイスラエルは、みじめになった。</p> <p>1. 計画-みことばを正確に握ろうとするなら、神様の計画が何か尋ねなければならない。</p> <p>2. 時刻表-神様の時刻表がある。</p> <p>3. 目標-神様の目標が必ずある。</p> <p>△この三つを参考にしてみことばを見てこそ正確だ。</p> <p>△イザヤ-モルデカイとエステルは、イザヤ預言者のみことばをよく聞いて神様のみことばを握ったのだ。</p> <p>□本論</p> <p>1. あらかじめ契約-このようになれば、あらかじめ契約を握るようになる。</p> <p>1) 捕虜-なぜ捕虜になったのか理由を分かるから難しいことではない</p> <p>2) 王妃-捕虜になった中で、王妃になったが、ものすごい理由を知ったのだ。</p> <p>3) 計画(エス 2:10、4:16) -神様が成し遂げられる重要な計画を知るようにしたのだ。</p> <p>エス 2:10 王妃になると「ユダヤ人であることを話してはならない」</p> <p>エス 4:16 ユダヤ人が死ぬようになったとき、エステルが「死ななければならないなら、死にます」と話した。</p> <p>2. 事件-必ず事件の中で重要な三つのことが出てくる。</p> <p>1) エス 2 章-王妃となる。</p> <p>2) エス 3-6 章-イスラエル民族が死ぬようになる危機で、エステルが彼らを生かすことになる。</p> <p>3) エス 9-10 章-プリムの日だ。簡単に答えが出てきたのだ。</p> <p>△私たちがこの座に、今、教会の重職者として、この時代に呼ばれた理由は重要なことがあるためだ。目標は人を生かすためだ。プリムの日を代々に守りなさいと言われた。問題がきたときは、ものすごい答えを受けるようになる。問題があるので、私を呼ばれたのだ。</p> <p>3. 記念碑-神様は記念碑的な祝福を残そうとされるのだ。</p> <p>1) 伝達-この事実を次世代と全世界の人々に伝達しなさい。</p> <p>2) 畏敬-「神様は、はむかう者を打ち砕かれます」</p> <p>□結論</p> <p>1. 答え-すべての問題、事件の中には準備された答えがある。</p> <p>2. 隠された祝福-困難と関係なく、隠された祝福で世界福音化される</p> <p>3. 絶対-誰も変えられない。神様の絶対計画と絶対目標がある。</p> <p>これを指して「神様が私たちに与えられた伝道者の旅程に行く」ということだ。</p> <p>△みことばを握る瞬間に神の国が成り立つ御座の祝福が臨む。それゆえ、私たちの生涯に一度の神殿建築と世界福音化のために献身するのだ。</p>	<p>□序論</p> <p>1. 私たちが点検しなければならないこと-私の人生の最後の点検</p> <p>1) まことの祝福と祈り(マタ 5、6 章)</p> <p>2) 伝道と人生がどこからきてどこへ行くのか(マタ 10 章)</p> <p>3) 祈るとき臨む神の国(マタ 12 章)</p> <p>4) 伝道と福音(マタ 13 章)</p> <p>5) 五つのパンと二匹の魚の奇跡(マタ 14 章)</p> <p>6) 最後に重要な質問(マタ 16 章) - 「人々がわたしのことをだれだと言いますか。あなたがたはわたしをだれだと言いますか」→マタ 16:16 告白以後、すべてのことを話された。マタ 16:18-19 約束された。</p> <p>7) カルバリの丘(完全勝利)、オリブ山(弟子に約束されたこと)、マルコの屋上の間(約束が成就)</p> <p>2. 世界福音化できる器の準備-世界福音化以前に世界福音化の祝福を受けるべきだ。</p> <p>1) 世界福音化の準備ができなくて、奴隷、捕虜、属国-神様の計画は絶対に変わらない。</p> <p>2) 世界福音化のためにローマを祝福して福音を入れられた。</p> <p>3) 世界福音化が準備された聖書の Remnant がいる所に、すべてのことを持って行かれた。</p> <p>△237 が準備された教会と重職者を神様は用いられるようになっていく。</p> <p>□本論_世界福音化される器と道</p> <p>1. イエス様が群衆を見てかわいそうに思われた(14 節)。これが福音だ。</p> <p>1) 世界を征服してこそ生き残ると勘違いしたローマの人々</p> <p>2) 属国になったが出世したと考えるパリサイ人、サドカイ人、律法学者、ヘロデ党</p> <p>3) 悪霊につかれた病気、病気になるって死んでいく人々、貧しい人々</p> <p>△彼らをかかわいそうに思うことができる力がある。神様が福音の目で私たちを見て呼ばれた。私たちがその目で見なければならない。</p> <p>2. 神様が至急にご覧になること(14 節)</p> <p>1) 病んでいる者たちが、みことばを聞いていやされようと集まったのだ。</p> <p>2) キリストがみなさんを祝福して、みなさん産業に働かれれば、ものすごいことが起こる。</p> <p>3. にせ物ではなく、本当にいのちの運動しなければならない。</p> <p>1) 「生かすのは霊で、肉は無益なのだ」(ヨハ 6:63) 本当のことを悟らなければならない。</p> <p>2) 世界を生かすことができる神様の祝福を私に与えられたので、それを握るのだ。</p> <p>3) 蔚山全域でみことば運動を開きなさい。-かわいそうに思う御座の目を持って、彼らにいちばん至急なことを与えなければならない。いのちを与えることができる目を持って。</p> <p>□結論_24 の奥義を見つけない。</p> <p>1. 24 -それだけ考えることだ。 2. 25 -神の国が臨むようになる。</p> <p>3. 永遠-みなさんの小さい献身は絶対に無くならない。</p> <p>△「70 弟子、70 地域、70 種族、70 の国」の契約を握りなさい。</p>	<p>△御座 <u>私のことではない異なる世界</u> 天の軍勢 <u>旧約-キリスト-新約</u> <u>サタン</u> (地獄) <u>わざわい</u></p> <p>△霊的狀態によって答えが来る。異なる世界、すなわち神様のことでするとき、御座と天の軍勢がこのように関係がある。旧約はキリストを送るということ、ここから遠ざかるたびにわざわいが、回復するたびに働きが起きた。新約はキリストが来られたとのこと、キリストは「サタンと地獄の背景、わざわいを打ちこわしたまことの王」ということだ。</p> <p>□序論_キリストが来られて何を一番たくさん話されたのか</p> <p>1. マタ 5:3 「天の御国があなたがたのものです」</p> <p>2. マタ 6:10 「御国が臨みますように」</p> <p>3. マタ 6:33 「神の国とその義とをまず第一に」</p> <p>4. マタ 10:7 「行って神の国が臨んだと言いなさい。天の御国が近づいた」</p> <p>5. マタ 12:28-30 「聖霊が臨んでサタンが縛られれば神の国が臨んだのだ」</p> <p>6. マタ 13:1-58 からし種、パン種-天国に関するたとえ</p> <p>7. 使 1:3 オリブ山で 40 日間神の国のことを説明された。</p> <p>8. 使 19:8 いちばんよくわかったパウロは神の国に関して大胆に 3 か月間話した</p> <p>□本論</p> <p>1. サタンの国</p> <p>1) 創 3:4-5、6:4-5、11:1-8 サタンが組織を作って日本、韓国、アメリカ、ヨーロッパ、後進国をみな掌握</p> <p>2) 技術、文化-技術と文化を作ってすべての青少年はみな引きずられて行く。</p> <p>3) 学問-学問の中に入り込んで、未来までみな掌握するということだ。</p> <p>△世の中をサタンが掌握している。今、アメリカは精神病者が急増していて、第 4 次産業革命も掌握することが明らかだ。</p> <p>2. 世の国-一つしか分からない。</p> <p>1) 衣・食・住-よく食べて、良い暮らしをするようにすれば最高だ。</p> <p>2) 宗教(三職務、三位一体) -キリスト教を宗教だと考え、三職務と三位一体を理解できない。</p> <p>3) 弟子-「五つのパンと二匹の魚」を見て感動して、イエス様が水の上を歩いて来られるのを見て、激しい風を見て恐れた。</p> <p>3. 神の国-少数の神の国が何か知っている人が世界を生かしたのだ。</p> <p>1) アイデンティティ(根源いやし) -キリストのアイデンティティを分かるべき。キリスト会う瞬間、根源がいやし</p> <p>2) Heavenly Power -神様が上から与えられる力</p> <p>3) 御座の力</p> <p>□結論</p> <p>1. ただ、唯一性、再創造を持って 24 しなさい。</p> <p>2. 一生タラント、一生専門性、一生現場性が出てくる。</p> <p>3. 神様が祝福を注ぎ込むプラットフォーム、光がある見張り場、メッセージがあるアンテナの答えを受けるようになる。</p>